

研修名	依存症関連問題専門研修 「ネット依存の現状と支援」
講師	久里浜医療センター 院長 精神科医 樋口 進 氏
開催日時	平成 30 年 1 1 月 1 6 日 (金) 18 : 30 ~ 20 : 30
開催場所	北九州市総合保健福祉センター (アシスト 21) 2 階講堂
参加者数	105 名 (内訳 : 医師、看護師、保健師、臨床心理士、養護教諭、精神保健福祉士、指導員、支援員、相談員など)
研修の内容等	<p>依存症関連問題に携わっている方を対象に、依存症に関する知識や支援手法に関する研修機会を提供することによって、支援者の意識やモチベーションの向上を図り、依存症に関して相談しやすい地域づくりを目指すことを目的に、研修会を開催した。</p> <p>講義形式で、ネット依存の現状や支援方法について講師の経験した事例をもとに、具体的な対応方法を学ぶ機会となった。</p> 
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット依存の身体への悪影響を今回学ばせていただき、深刻さは想像以上でした。 ・個々のケースに合わせての対応が必要だと感じました。 ・回復というものが個々で異なるため、丁寧な対応が重要だと感じました。また、インターネット依存に関しても、未成年への関わりや治療が難しいのだと改めて感じました。 ・最近の取組みや事例などを詳しく説明していただき、大変わかりやすかったです。支援者が一緒に回復へと取り組むときに本人の健康な部分を見つけられる力、家族も協力者として働きかける力があると考えさせられました。 ・ゲーム障害・ネット依存の現状を知ることができて、とても勉強になりました。スマホ・ネット・ゲームがとても充実している時代なので、対応にも工夫が必要だと感じました。 ・粘り強い関わりが大切だと感じました。ドロップアウトしないよう継続する努力や工夫が必要であると学んだ。